

入居者に寄り添う未来の私たち ～生産性向上とウェルビーイングの好循環～

社会福祉法人 寿光会 盲養護老人ホーム 光明荘

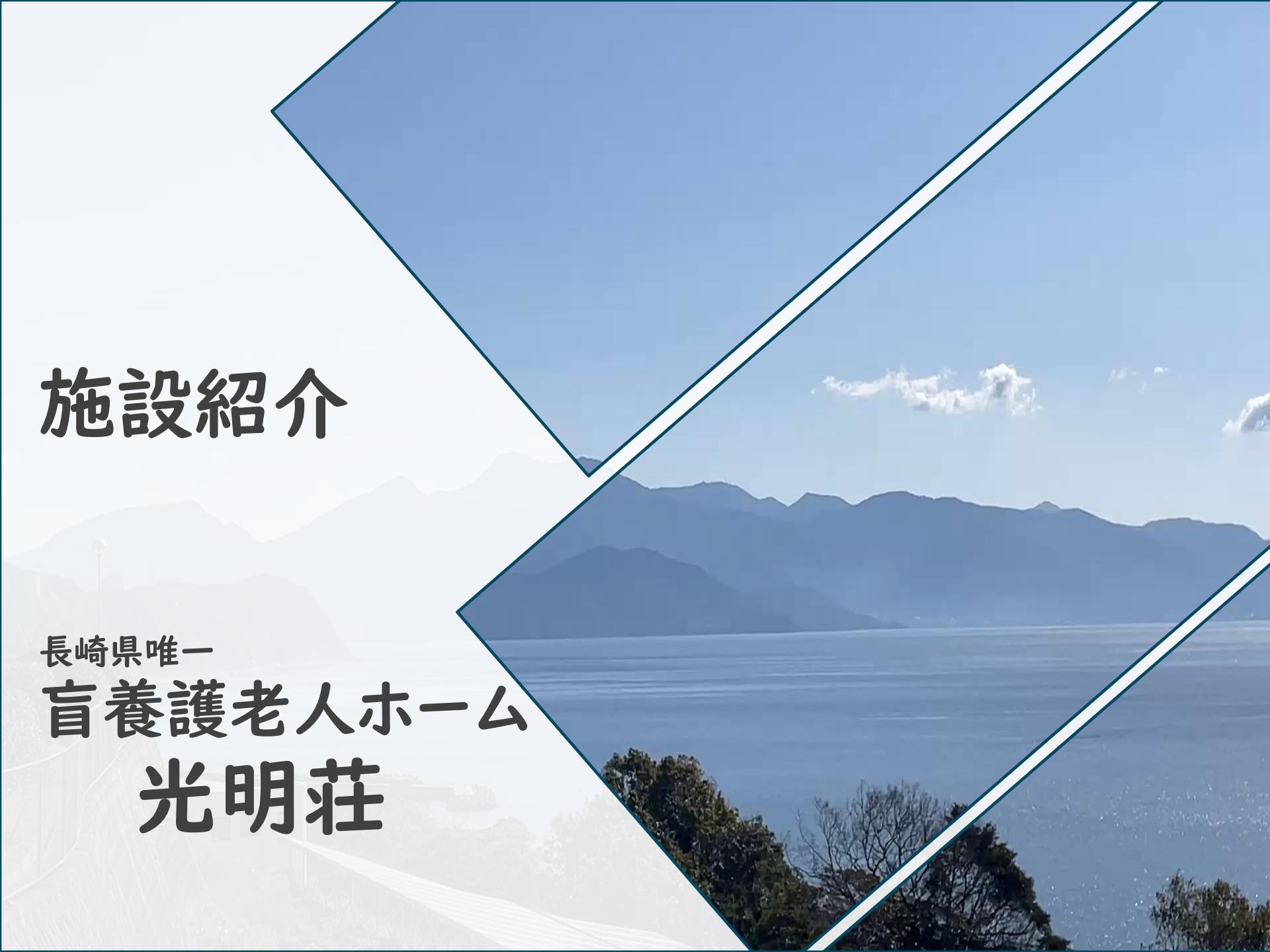
主任生活相談員 角田紀子

盲養護老人ホーム
光明荘



施設紹介

長崎県唯一
盲養護老人ホーム
光明荘



ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境の課題
広い施設、コール対応機器不足

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境の課題
広い施設、コール対応機器不足

③記録業務の非効率化
手書き記録、重複転記

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題

言葉づかいの問題、口調が荒くなる

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題

言葉づかいの問題、口調が荒くなる

⑤視覚障害者入居者への配慮不足

大声での呼びかけ、驚かせてしまう言動

ICT導入の背景

入居者の高齢化

100歳以上が2名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④言葉づかいの課題

言葉づかいの問題、口調が荒くなる

⑤視覚障害者入居者への配慮不足

大声での呼びかけ、驚かせてしまう言動

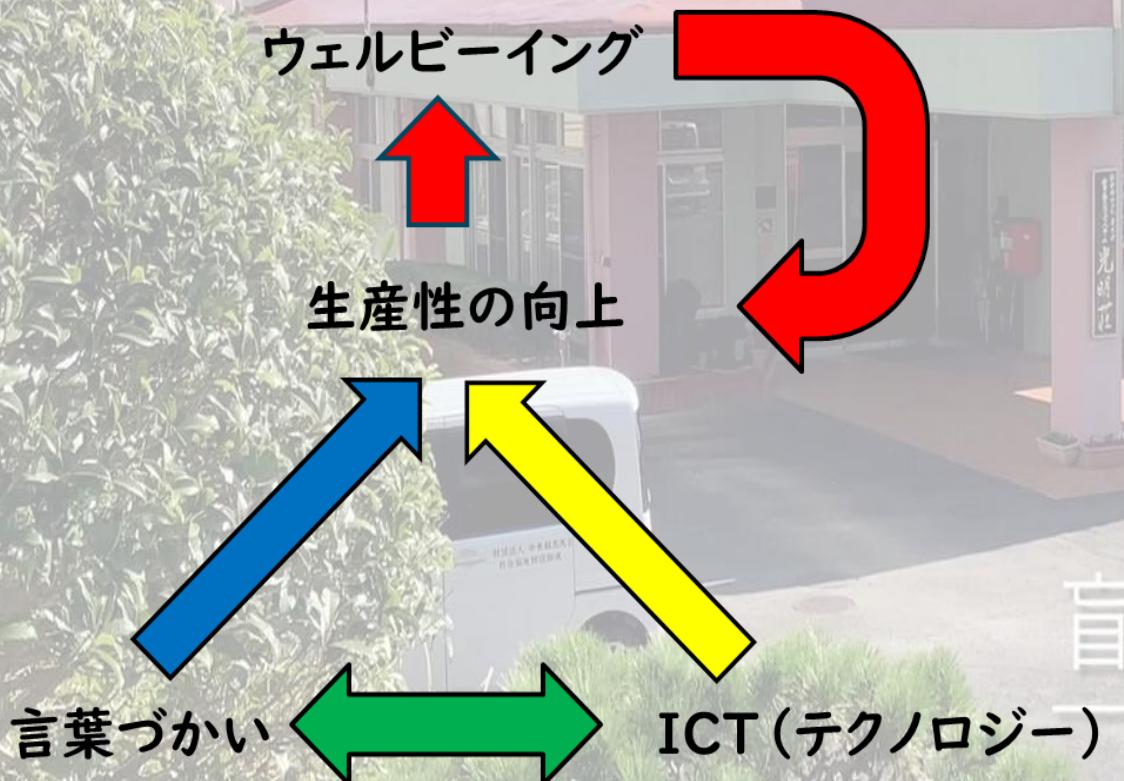
⑥職員の孤立感

アナログ業務に業界から取り残されている感覚

仮説

言葉づかいの改善 + テクノロジー導入=生産性が上がる

- 入居者のウェルビーイングは向上するのではないか？
- ウェルビーイングが向上すればさらに生産性があがるのでないか？



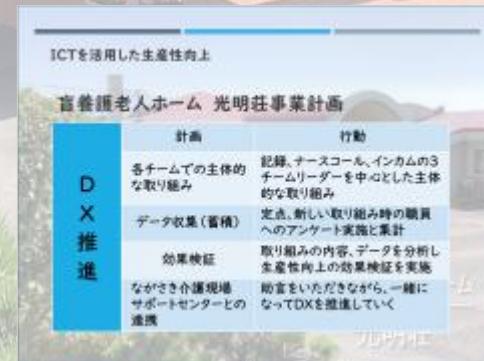
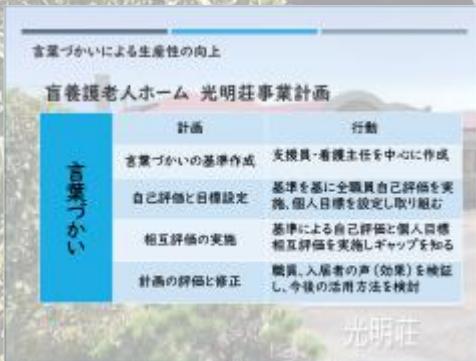
ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを指し、単なる健康状態の良さだけでなく、持続的な幸福感や生きがいを含む概念です。世界保健機関（WHO）の憲章で「健康」の定義として用いられた。

光明荘

ICTを活用した生産性向上と言葉づかいによる生産性の向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

テーマ	光明荘行動指針『心に暖かい光を届けます』
方針	<ol style="list-style-type: none">1.言葉を大切にします。2.研修を充実します。3.DXを更に推進します。



言葉づかいによる生産性の向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

言葉づかい

言葉づかい	計画	行動
言葉づかいの基準作成	支援員・看護主任を中心に作成	
自己評価と目標設定	基準を基に全職員自己評価を実施、個人目標を設定し取り組む	
相互評価の実施	基準による自己評価と個人目標相互評価を実施しギャップを知る	
計画の評価と修正	職員、入居者の声（効果）を検証し、今後の活用方法を検討	

光明荘

ICTを活用した生産性向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

D
X
推進

計画	行動
各チームでの主体的な取り組み	記録、ナースコール、インカムの3チームリーダーを中心とした主体的な取り組み
データ収集(蓄積)	定点、新しい取り組み時の職員へのアンケート実施と集計
効果検証	取り組みの内容、データを分析し生産性向上の効果検証を実施
ながさき介護現場 サポートセンターとの連携	助言をいただきながら、一緒になってDXを推進していく

職員がインカムを使ってナースコールに対応しています。





録音・録画機能付
ナースコール

ココヘルパVP

by GCOMM

録音・録画機能付
ナースコール

ココヘルパVP

by GCOMM



夜間見守りソフト

ココヘルパVP

by GCOMM



骨伝導型
スマートインカム

by GCOMM



iPhone

by ニューズドテック



ほのぼのNEXT

by NDソフトウェア
絆データシステム



Care Palette

by NDソフトウェア



Bluetooth 通信対応機器

by NDソフトウェア



Bluetooth 通信対応機器

データ転送

by NDソフトウェア



すべてをつなぐ
Wi-Fi環境

by トランコム

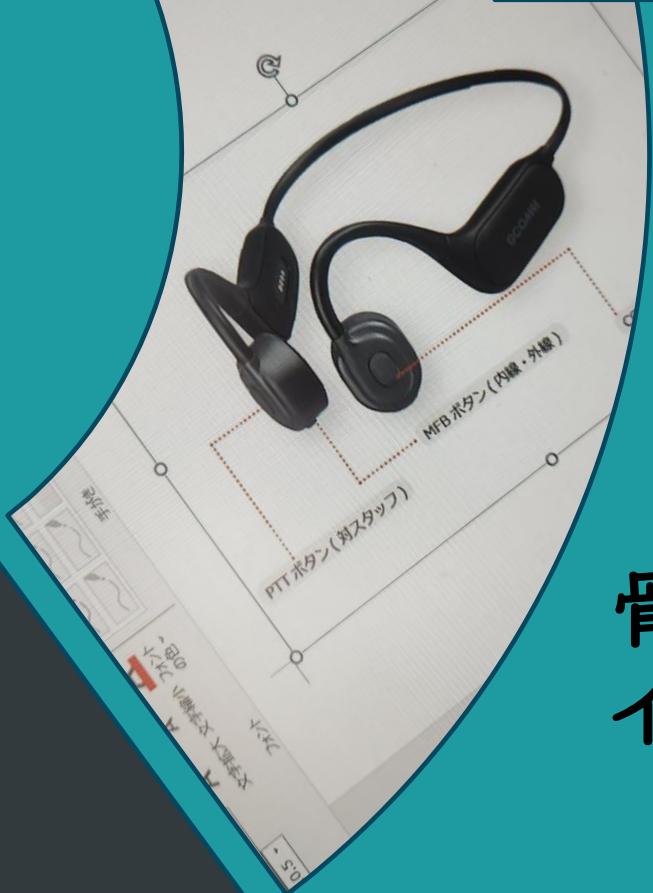




シングル
プラットフォーム

録音・録画機能付
ナースコール

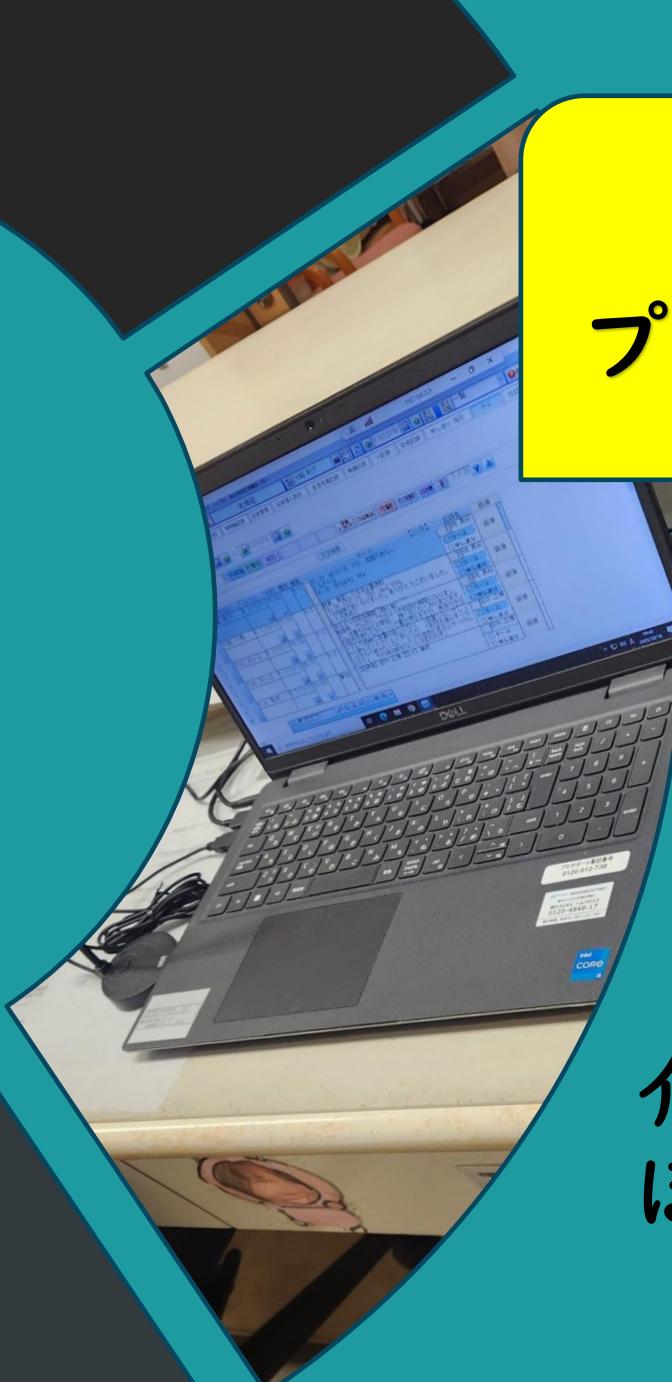
シングル
プラットフォーム



骨伝導スマート
インカム

シングル
プラットフォーム

介護ソフト
ほのぼのNEXT



シングル
プラットフォーム



夜間巡回アプリ
タブレット

シングル
プラットフォーム



Bluetooth通信対応型
体温計
パルスオキシメーター
血圧計

シングル
プラットフォーム



Care Palette
↔ 連動
ほのぼNEXT

録音・録画機能付ナースコール

録音・録画機能の
活用

by GCOMM



録音・録画機能の活用



全盲入居者
ベッドからの
転落事故

ご本人は、床で
お昼寝をして
いると勘違い

起き上がり

録音・録画機能の活用



全盲入居者
ベッドからの
転落事故

ベッドの上を
歩きだす

録音・録画機能の活用



全盲入居者
ベッドからの
転落事故

床へ転落

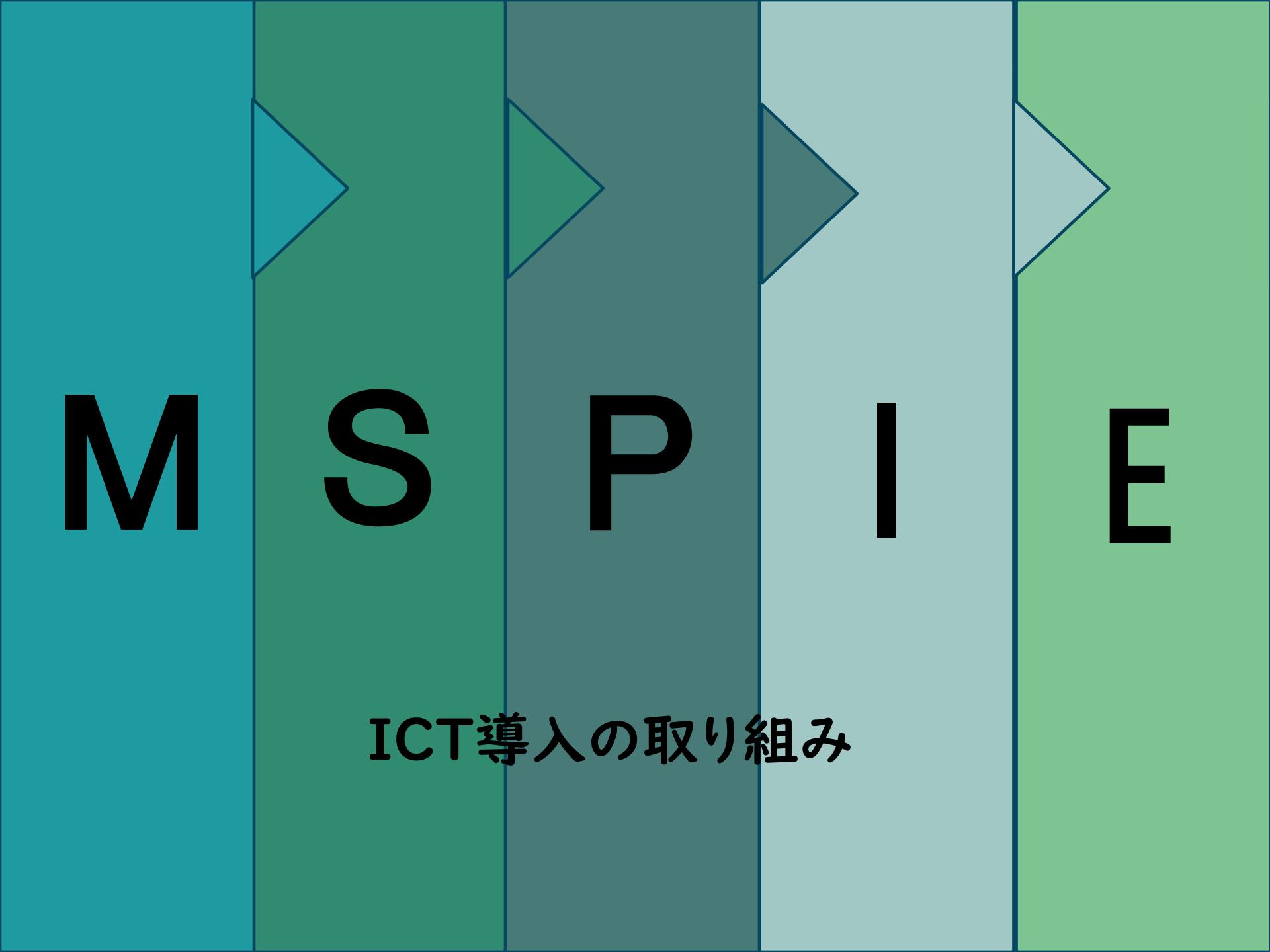
録音・録画機能付
ナースコール

映像による検証
明確な対策

by GCOMM

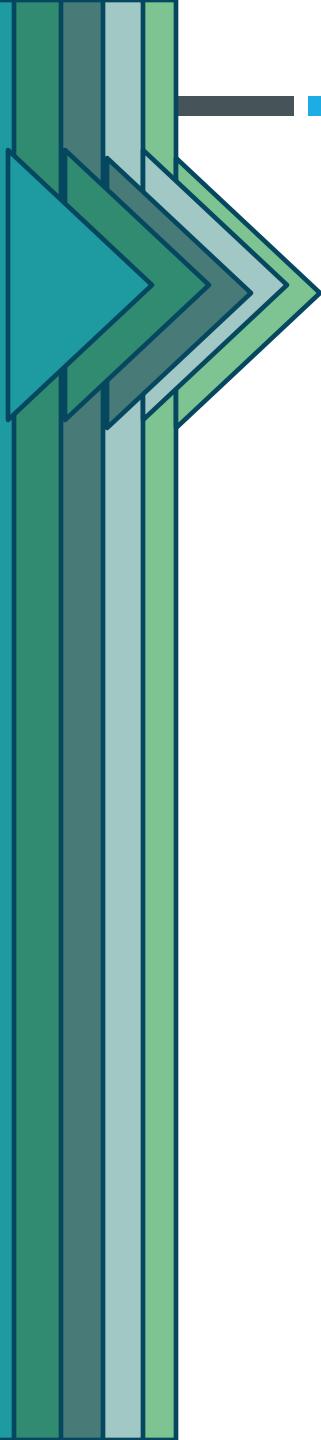


暗視機能搭載!



M **S** **P** **I** **E**

ICT導入の取り組み



動機付け

動機付け研修会：全職員参加

テクノロジーはなぜ必要か？
講師：ながさき介護現場サポートセンター

その他、関連研修
講師：施設職員（アクセシビリティ研修会）

S

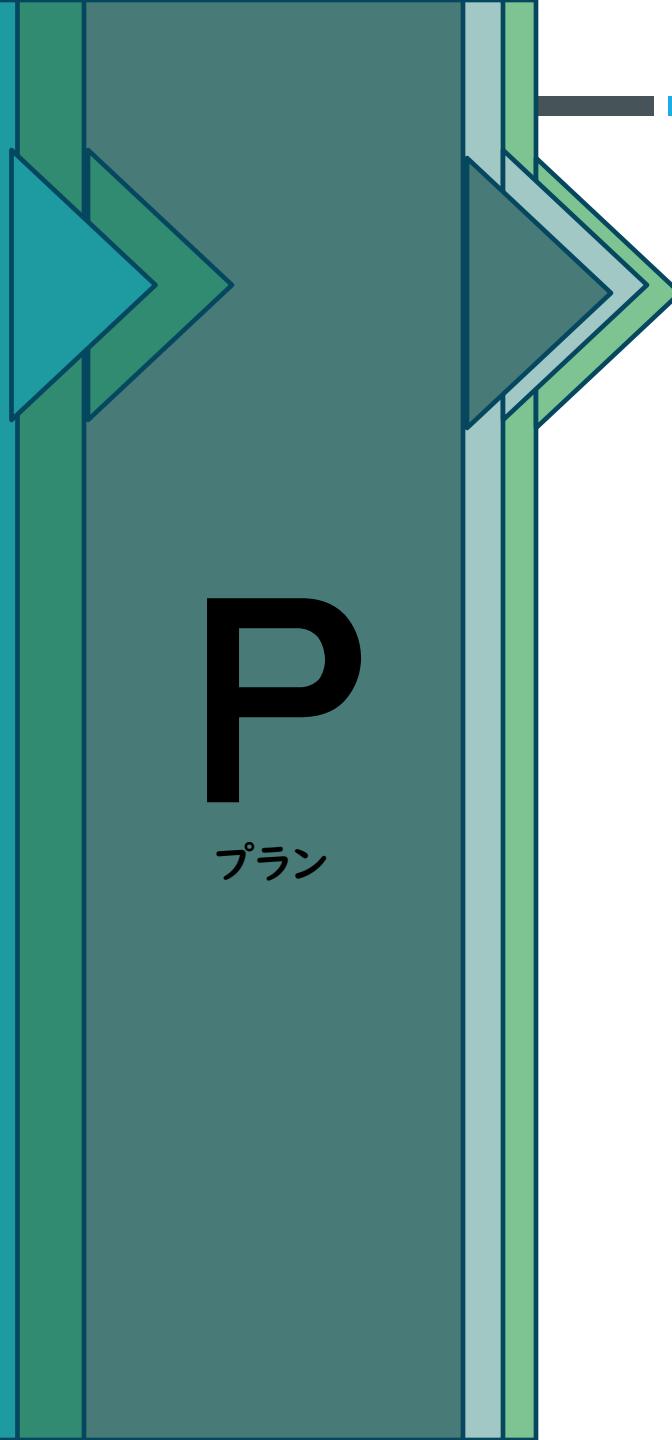
システム

体制づくり

介護DX推進事業
プロジェクトチーム発足

職員全員が構成メンバー

- ★記録ソフト
- ★ナースコール
- ★インカム・iPhone
- ★眠りSCAN



P

プラン

計画

各チームリーダー主体で
各機器の導入計画検討

導入機器の研究会を隨時実施

- ★記録ソフト
- ★ナースコール
- ★インカム・iPhone

実施 ステップⅠ

R6.11月～
キックオフミーティング
各機器導入までのスケジュール
&ミーティング

インプリメント

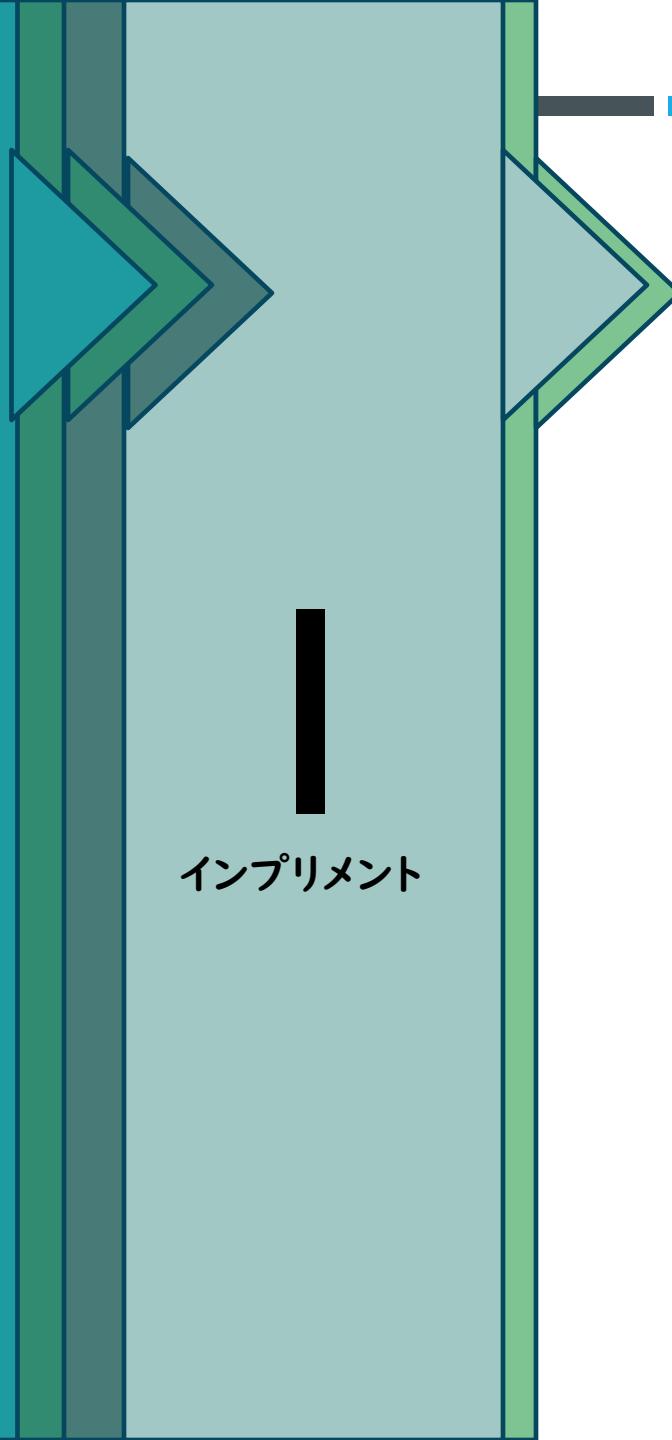
- ながさき介護現場サポートセンター
- ジーコム
- 絆データシステム
- ニューズドテック

実施 ステップ2

インフルエンザ感染対策より
R6.12月～インカム活用始動

インプリメント

インカム&iPhoneのみ
職員の連携用として活用



実施 ステップ3

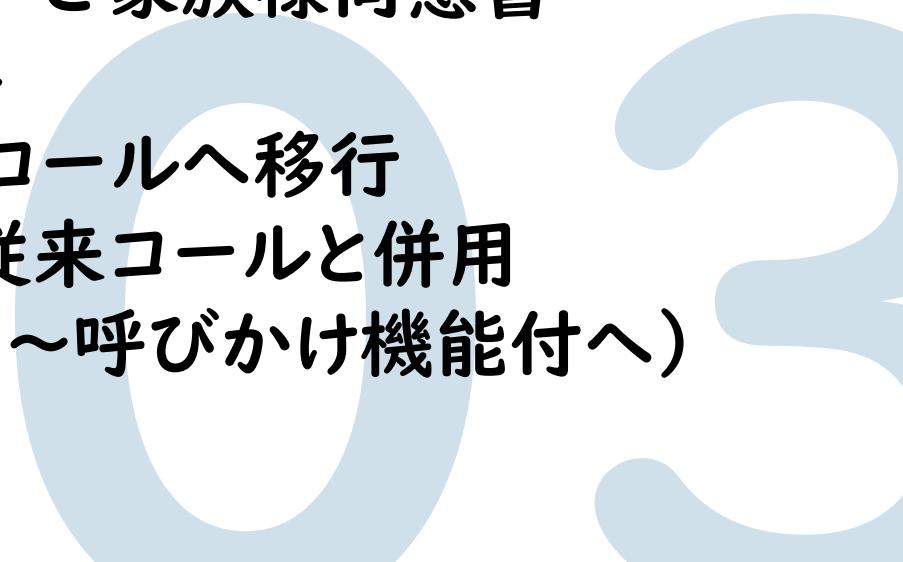
R7.1/8～ナースコール 始動

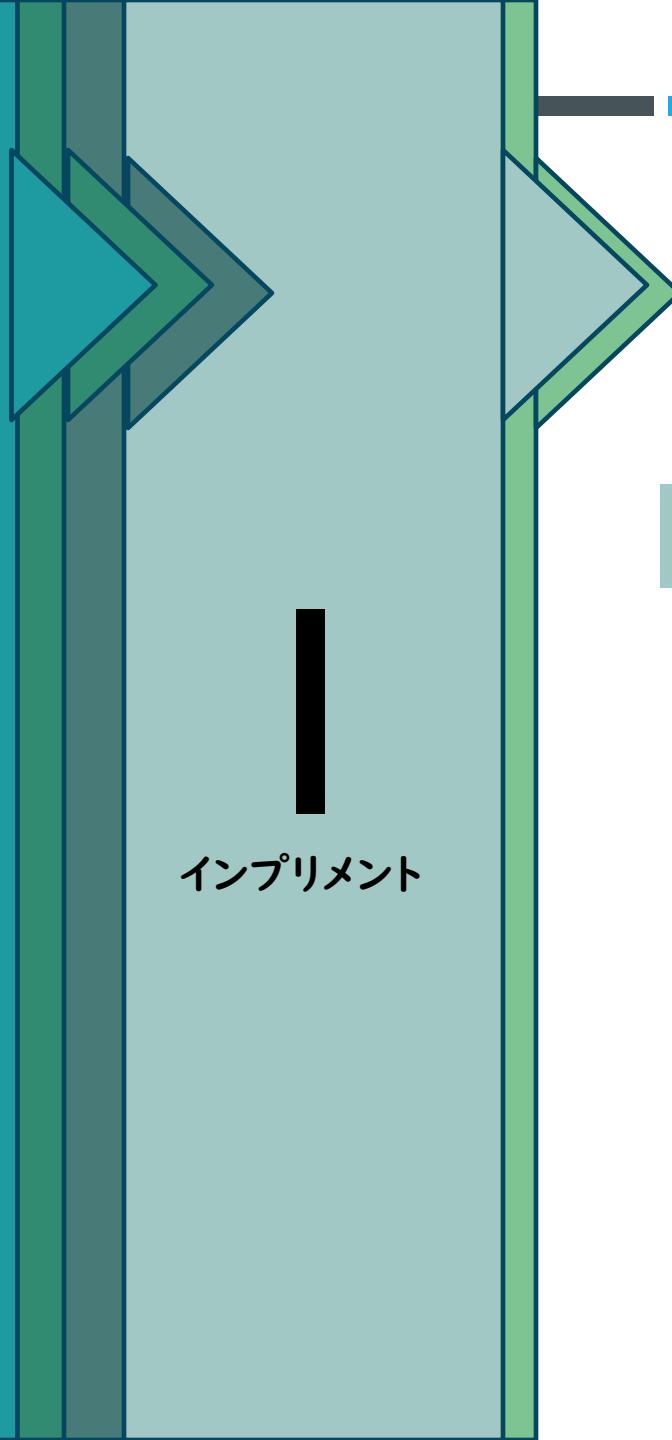
設置完了後、研修を実施
全職員が研修を受ける体制
入居者様・ご家族様同意書



新ナースコールへ移行
当時は、従来コールと併用
(R7.7月～呼びかけ機能付へ)

インプリメント





実施 ステップ4

R7.1/16～Care Palette 導入へ

同法人へ情報収集する中で、
Care Palette導入を決定

従来のバイタル測定時間を計測



インプリメント

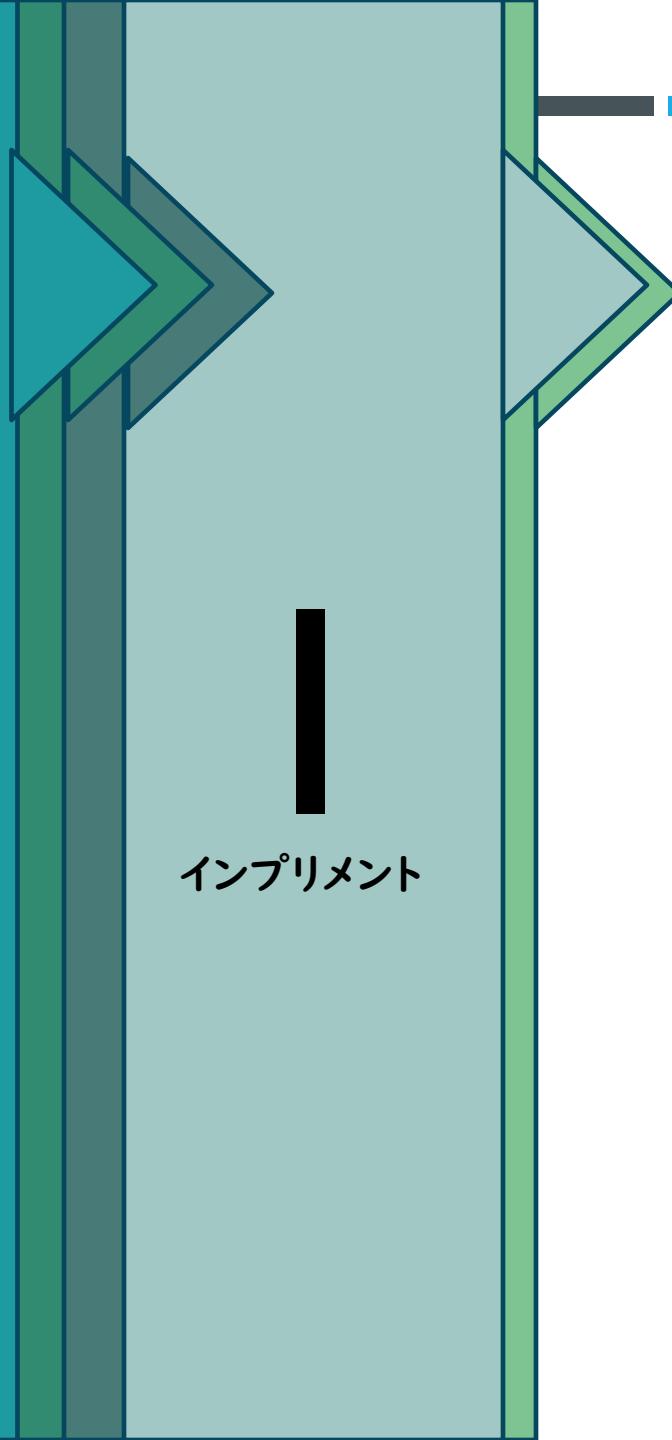
実施 ステップ6

R7.8月～夜間見守り巡回アプリ

夜間見守り巡回アプリによる
巡回実施

見守りカメラで見て欲しくない
方へはモザイクをかけた対応

インプリメント

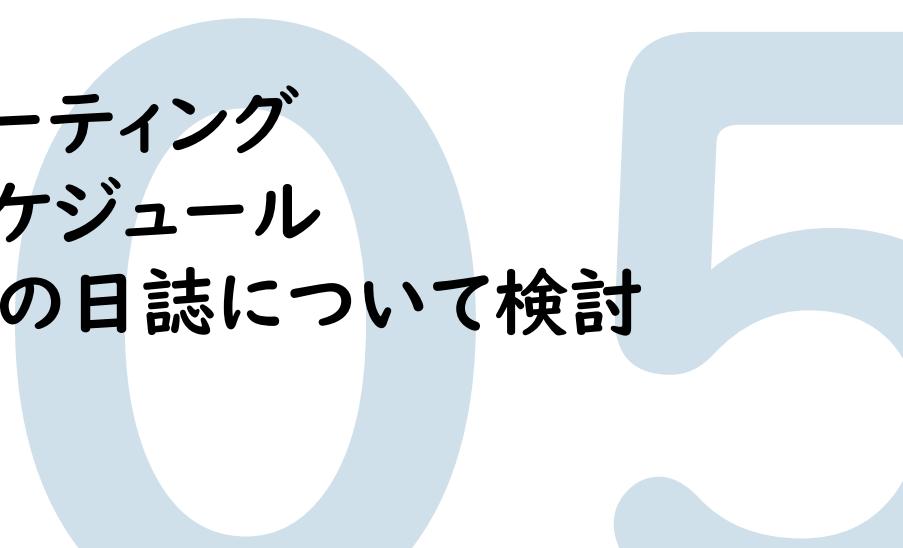


実施 ステップ5

R7.9/1～ほのぼの始動

インカム、ナースコール、
CarePalette導入と並行して
ほのぼの導入準備実施

導入ミーティング
運用スケジュール
各部署の日誌について検討



インプリメント

実施 ステップ7

R7.10月中旬～

ほのぼの×5ライセンス、
CarePalette×11ライセンス
増設予定

日誌の廃止意向決定!

インプリメント

評価

インカム・ココヘルパ
ほのぼのNEXT
導入効果測定

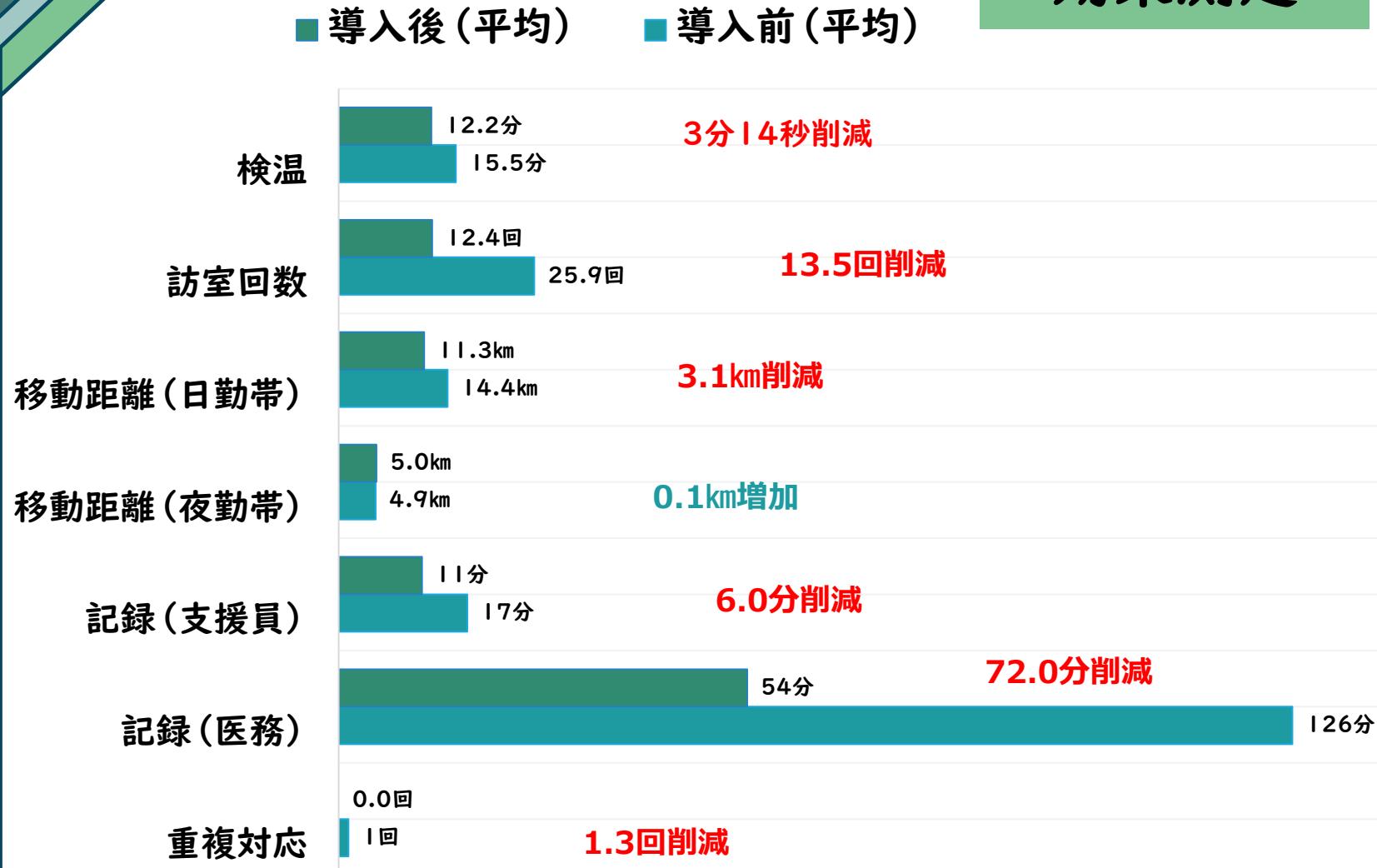
E

エヴァリュエーション

評価

インカム・ココヘルパ・ほのぼの導入

効果測定



自己評価・個人目標

言葉づかいの取り組み

光明荘 言葉使いについての自己評価及び個人目標																	
言葉使いのスローガン																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td colspan="2">笑顔が見えるように言葉に表情をつけて話します</td></tr> <tr><td>2</td><td colspan="2">尊敬と感謝の気持ちを持って話します</td></tr> <tr><td>3</td><td colspan="2">優しく、穎がす、穏やかに感情をコントロールして話します</td></tr> <tr><td>4</td><td colspan="2">聞き上手・褒め上手分かり易い言葉を使います</td></tr> <tr><td>5</td><td colspan="2">職員同士適切な礼儀と思いやりをもって話します</td></tr> </table>			1	笑顔が見えるように言葉に表情をつけて話します		2	尊敬と感謝の気持ちを持って話します		3	優しく、穎がす、穏やかに感情をコントロールして話します		4	聞き上手・褒め上手分かり易い言葉を使います		5	職員同士適切な礼儀と思いやりをもって話します	
1	笑顔が見えるように言葉に表情をつけて話します																
2	尊敬と感謝の気持ちを持って話します																
3	優しく、穎がす、穏やかに感情をコントロールして話します																
4	聞き上手・褒め上手分かり易い言葉を使います																
5	職員同士適切な礼儀と思いやりをもって話します																
職員に対するチェックリスト																	
番号	職員に対するチェックリスト	点数															
1	相手を見て笑顔で挨拶出来ている																
2	入居者の前で私語をしていない																
3	相手を「〇〇君」「〇〇ちゃん」と呼んでいない																
4	人を馬鹿にする内容や悪口を言っていない																
5	感情がコントロールできずに無言になっていない																
6	同僚を一方的に責めたり、強い口調で威圧していない																
7	年齢・役職に関わらず適切な礼儀をもって話している																
8	相手の立場にたって思いやりのある言葉で話している																
9	役職を付けて呼んでいる																
10	相手の意見を尊重し否定的な言葉使いを避けている																
11	丁寧な言葉使い「です」「ます」調を基本としている																
12	不適切な言葉使いを聞いた時は注意または報告している																
合計 点 数																	
できている項目番号																	
できていない項目番号																	
【チェックリストを自己評価して感じたこと】																	
これから半年間の目標																	

言葉づかいのスローガン

職員に対するチェックリスト

- 1. 相手を見て笑顔で挨拶できている
- 2. 入居者の前で私語をしていない

【点数の基準】できている 3点 普通 2点 できていない 1点	
番号 入居者に対するチェックリスト	
1 正しい敬語の使い分けが出来ている（尊称語・謙譲語）	
2 刺れ駄らしいダメ口を使っていない	
3 赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない	
4 だ名や呼び捨てをしていない	
5 から日頃の言葉使いになっていない	
6 薬剤師が理解できない若者言葉や専門用語を使っていない	
7 元気よく大きな声ではっきり話している	
8 視覚障害者であっても目線の高さを合わせている	
9 挨拶は入居者より先にしている	
10 インターフォン等をもって話をしている	
11 お年寄りの方の立場に合わせて話している	
12 できるだけ丁寧な言葉を使っている	
13 お年寄りの方の立場に合わせて話している	
14 できるだけ丁寧な言葉を使っている	
15 お年寄りの方の立場に合わせて話している	
16 できるだけ丁寧な言葉を使っている	
17 入居者の家族とため口になって話していない	
合計 点 数	
できている項目番号	
できていない項目番号	
【チェックリストを自己評価して感じたこと】	

言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標

自己評価及び個人目標	
ローラン つけて話します ます	
コントロールして話します 話をします もって話します	
チェックリスト	点数
に呼んでいない いない なっていない で威圧していない をもって話している る言葉で話している いを避けている 語を基本としている または報告している 放	
こと】	
前の目標	

【点数の基準】できている3点 普通2点 できていない1点

番号	入居者に対するチェックリスト	点数
1	正しい敬語の使い分けが出来ている（尊敬語・謹慎語・丁寧語）	
2	荆れ荆れしいタメ口を使っていない	
3	赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない	
4	あだ名や呼び捨てをしていない	
5	上から目線の言葉使いにならない	
6	高齢者が理解できない若者言葉や専門用語を使っていない	
7	元気よく大きな声ではっきり話している	
8	視覚障害者であっても目線の高さを合わせている	
9	挨拶は入居者より先にしている	
10	イライラせず余裕をもって話をしている	
11	後ろから声掛けをして驚かせていない	
12	最初に自分の名前を名乗ってから話ができる	
13	命令口調で威圧的な言葉使いにならない	
14	「待ってください」「座ってください」を	
15	相手が言った事を直ぐに否定せず気持ちを	
16	「です」「ます」等語尾を省略せずに話せ	
17	入居者の家族とため口になって話していない	
合計点数		
できている項目番号		
できていない項目番号		

【チェックリストを自己評価して感じたこと】

点数の基準

できている 3点

普通 2点

できていない 1点

入居者に対するチェックリスト

8. 視覚障害者であっても目線の高さを
合わせている

11. 後ろから声掛けをして驚かせていない

自己評価して感じたこと

目標を達成するために具体的に取り組む

1
2
3
4
5

記入要項

1. 言葉使いのスローガンを確認してください。
2. チェック項目ごとに△印をつけてください。
3. 普通2点、できていない1点を記入してください。

4. できている項目欄、できていない項目欄に番号を記入してください。

5. 上記1～5を踏まえて自己評価して感じたことを記入してください。

6. これから半年間の個人目標を箇条に設定してください。

7. 簿記に記入してください。この欄は半年後に再評価する際まで設定しておいてください。

8. 11. チェックリストは、半年後に他者評価（相互評価）

12. 番号・氏名を記入し5月 日までに助任主任に

13. 記入内容は主任以上の閲覧とし秘密厳守とします。

監査 氏名

言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標	
できていない1点	
1 スト 語・謙譲語・丁寧語)	点数
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	

これから半年間の目標

目標を達成するために具体的に取り組むこと

1
2
3
4
5

【記入要項】

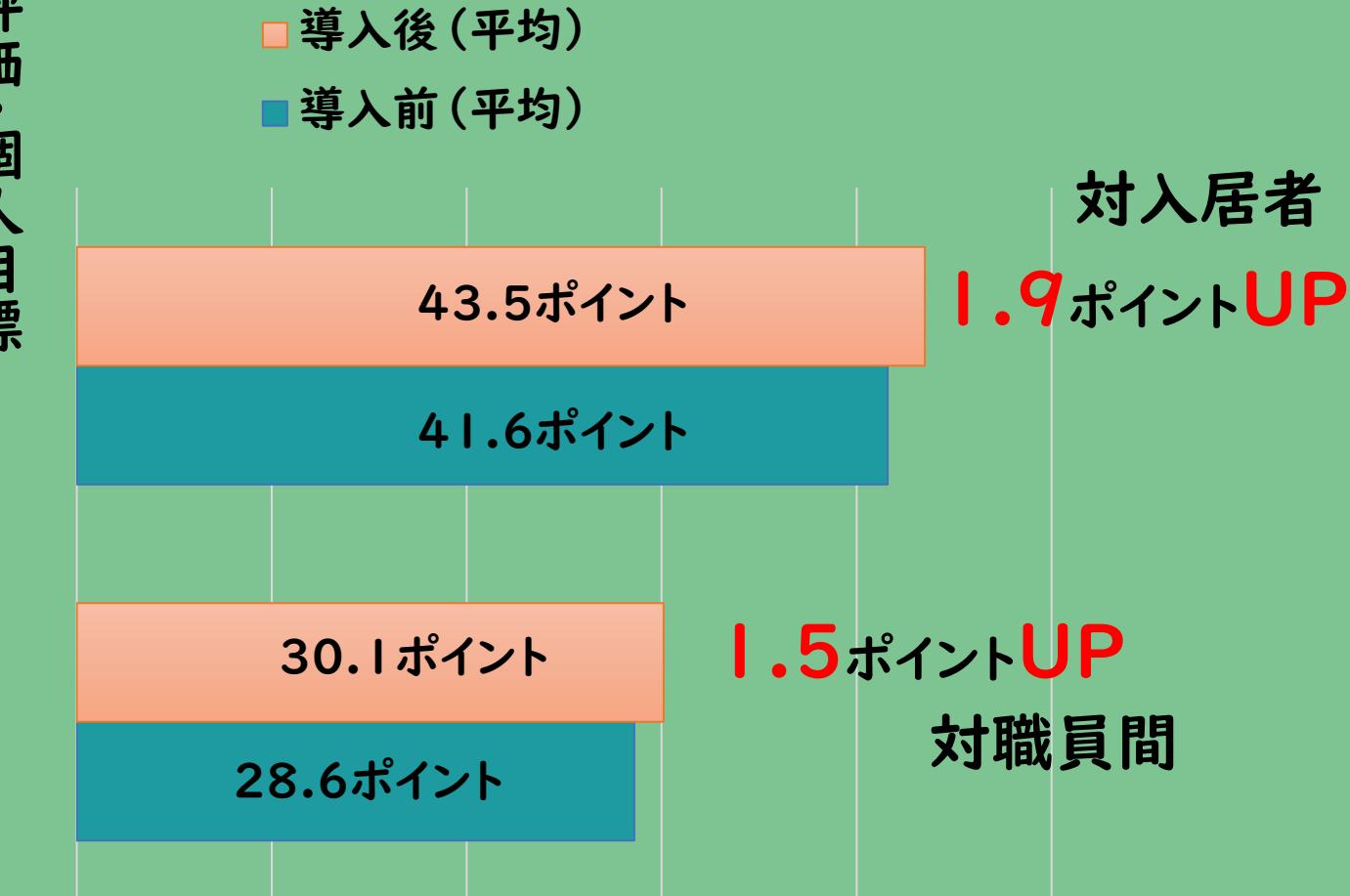
1. 言葉使いのスローガンを確認してください。
2. チェック項目ごとに点数をつけてください。
3. 点数は、できている3点、普通2点、できていない1点です。
4. 点数をつけたら合計点を記入してください。
5. できている項目欄、できていない項目欄に番号を記入してください。
6. 上記1～5を踏まえて自己評価して感じたことを記入してください。
7. これから半年間の個人目標を簡潔に設定してください。
8. 具体的に取り組むことを分かりやすく、簡潔に記入してください。
9. 取り組み内容は最低3つ～多くてもらつまで設定してください。
10. チェックリスト、目標、取り組むことは半年後に再評価します。
11. チェックリストは、半年後に他者評価（相互評価）を実施します。
12. 種類・氏名を記入し5月　　日までに町田主任に提出して下さい。
13. 記入内容は主任以上の閲覧とし秘密厳守とします。

種　類 _____ 氏　名 _____

記入要項

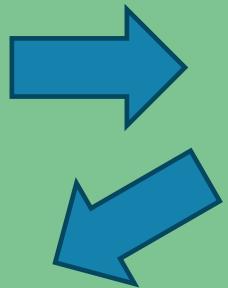
言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標



効果測定

自己評価・個人目標



相互評価へ

生産性が向上する

対入居者・職員間の
言葉づかいが良くなる

言葉づかいの取り組み

パソコン操作が
苦手で、前向きになれない

便利だな～

必要なことなんだ!
頑張ろう!

日々の業務
が優先

リーダーと勤務
が合わないから
話し合えない

先に進まない!
リスクばかり

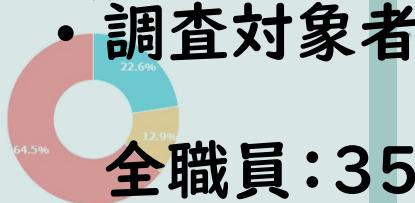


成果とアンケート

ICT導入についての意識調査

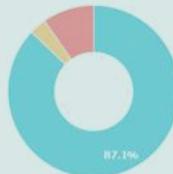
(インカム 記録用ソフト 見守り支援機器)

スマホやパソコン等の機器の操作は好きですか？(31)



全職員：35名

インカムは業務上必要と思いますか？(31)



回答者：31名 → 29名（出向職員1名）

無料版30名限定のため、人数減少

情報共有の効率化

緊急対応の強化

ハンズフリーで業務がしやすくなる

その他

・調査手段：LINE WORKS アンケート

・調査項目：12項目

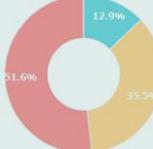
情報共有の効率化

書類の保管スペースの削減

会議に充てる時間の増加

その他

見守り支援機器 導入で考えられる効果とは？(31)



どこにいても通知を受信できる

呼び出し音がなり入所者の氏名や部屋番号が表示され迅速に対応ができる

記録ソフトとの連携 入所者の病状や基本的なデータを把握できる

その他

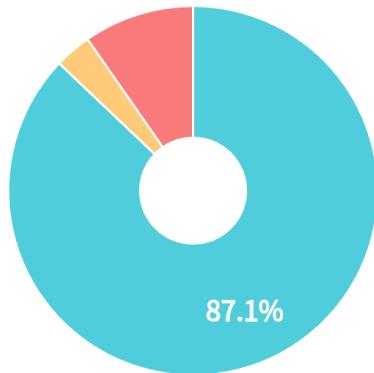
職員アンケート

成果とアンケート



* インカムは業務上必要と思いますか？

回答 31 * 未回答 0



選択肢順 ▼

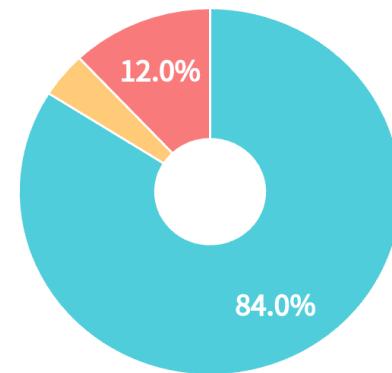
● 必要がある 27 (87.1%)

● 必要がない 1 (3.2%)

● わからない 3 (9.7%)

* インカムは業務上、必要だと思いますか？

回答 25 * 未回答 0



選択肢順 ▼

● 必要がある 21 (84.0%)

● 必要がない 1 (4.0%)

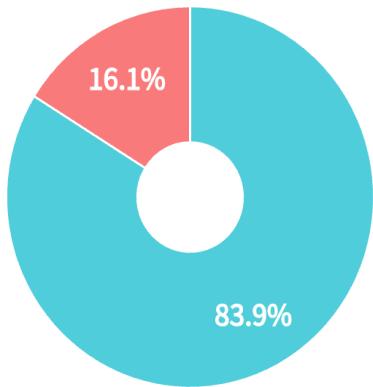
● わからない 3 (12.0%)

成果とアンケート



* 記録ソフトは業務上必要があると思いますか？

回答 31 * 未回答 0



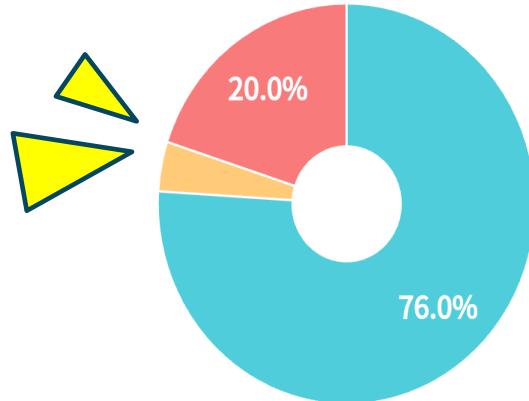
選択肢順 ▼

● 必要がある 26 (83.9%)

○ 必要がない 0

● わからない 5 (16.1%)

* 回答 25 * 未回答 0



選択肢順 ▼

● 必要がある 19 (76.0%)

○ 必要がない 1 (4.0%)

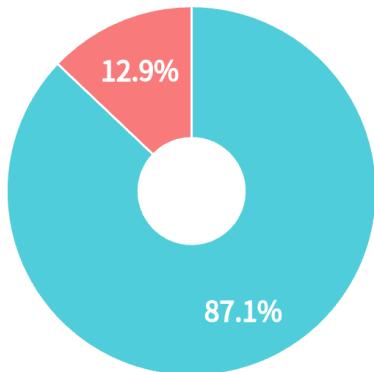
● わからない 5 (20.0%)

成果とアンケート



* 見守り支援機器は業務上必要があると思いますか？

回答 31 * 未回答 0



選択肢順 ▼

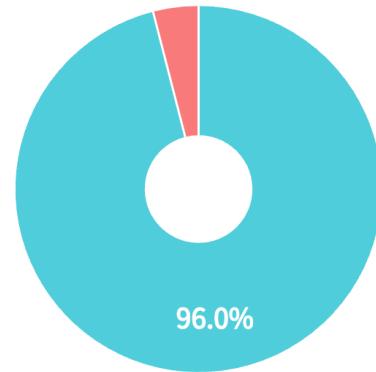
必要がある 27 (87.1%)

必要がない 0

わからない 4 (12.9%)

* 見守り支援機器は業務上必要があると思いますか？

回答 25 * 未回答 0



選択肢順 ▼

必要がある 24 (96.0%)

必要がない 0

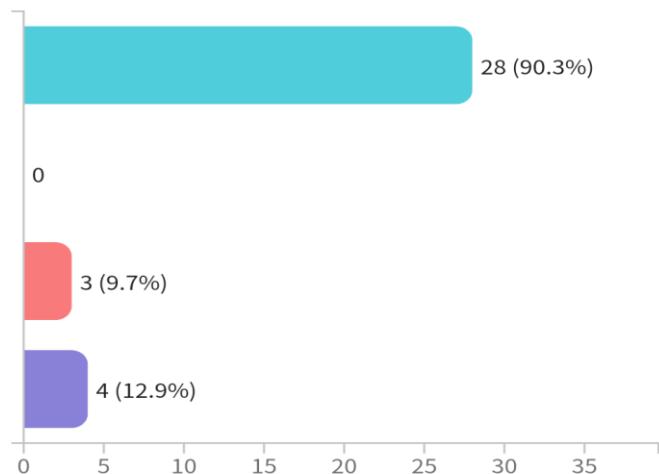
わからない 1 (4.0%)

成果とアンケート



* インカム 記録ソフト 見守り支援機器の導入の必要性

回答 31 * 未回答 0

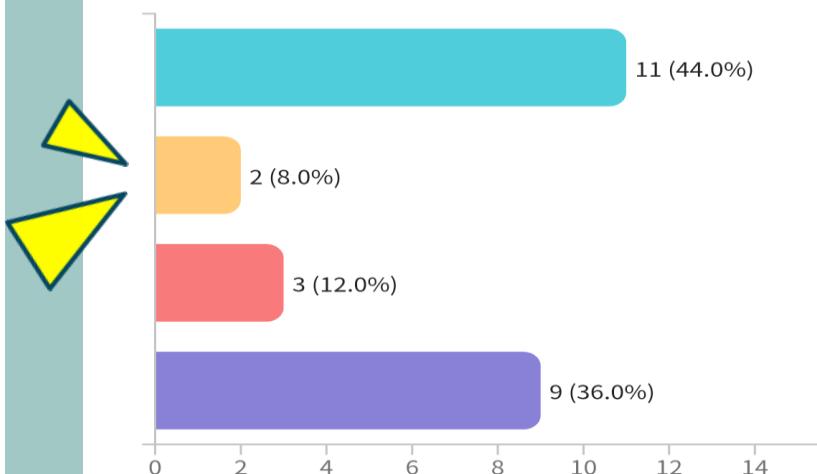


選択肢順 ▼

- 期待する 28 (90.3%)
- 期待しない 0
- 不安 3 (9.7%)
- その他 4 (12.9%)

* インカム 記録ソフト 見守り支援機器の必要性

回答 25 * 未回答 0



選択肢順 ▼

- 期待どおり 11 (44.0%)
- 期待はずれ 2 (8.0%)
- 不安 3 (12.0%)
- その他 9 (36.0%)



成果とアンケート

職員アンケート

SRS-18アンケート集計結果 ②

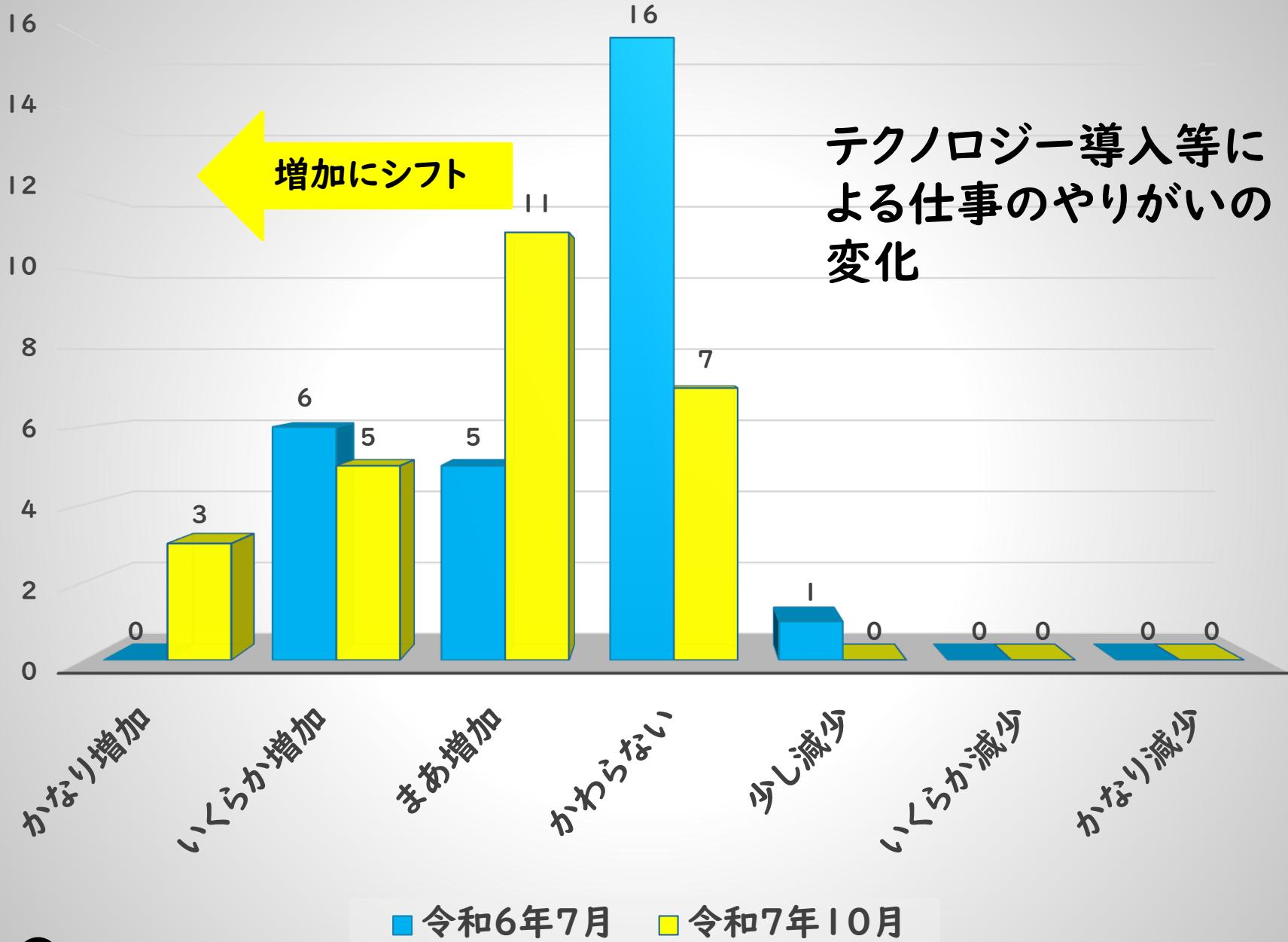
2025年7月



3. テクノロジーの導入等によるモチベーションの変化

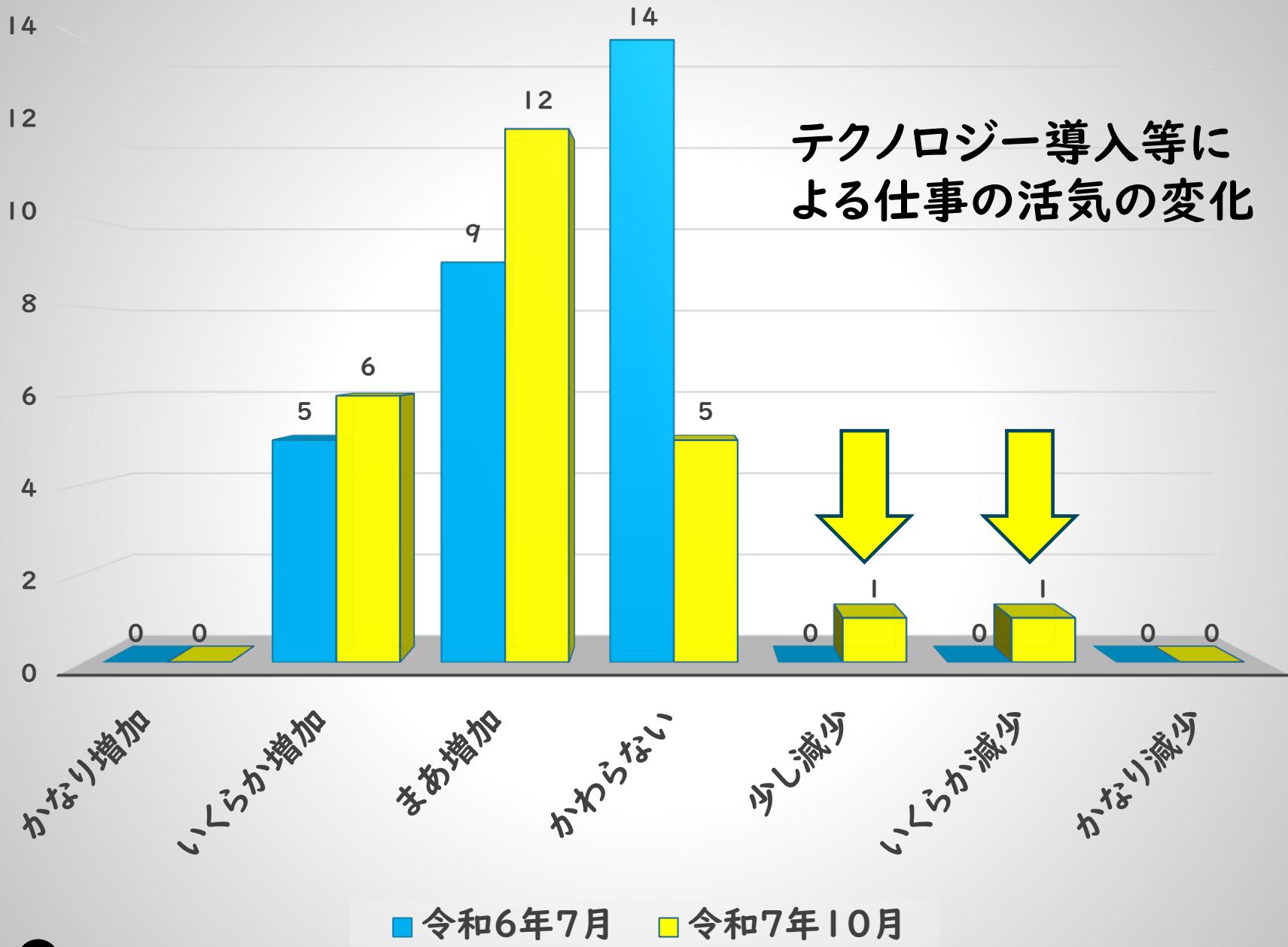
※ この設問では、テクノロジーの導入等の前後のモチベーションの変化についてお伺いします。

		←減少したと感じる							増加したと感じる→	
1	テクノロジー導入等による、仕事のやりがいの変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	点数	
	人数	人	0	0	1	16	5	6	0	16
2	テクノロジー導入等による、職場の活気の変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	点数	
	人数	人	0	0	0	14	9	5	0	19



職員アンケート

テクノロジー導入等による仕事の活気の変化



■ 令和6年7月 ■ 令和7年10月

職員アンケート



入居者アンケート

利用者向け調査票

WHO-5 スケール

対象利用者におけるQOLの変化

◆和7年5月実施

満点数：いつも=5点 ほとんどいつも=4点 ときどき=3点 まれに=2点 たまに=1点 全く=0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
3 対話的で、活動的に過ごした	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

対象利用者におけるOOLの変化

◆2017年10月实施

満点数：いつも=5点、日とんどいつも=4点、半分以上=3点、半分以下=2点、たまに=1点、全く=0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
3 密欲的で、活動的に過ごした	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

WHO-5スケールは、国際的に認知されたウェルビーイング評価指標であり、介護現場における支援の質や生活の実感を定量的に捉えるツールとして活用されています。また、令和6年度介護報酬改定において「生産性向上推進体制加算」の評価指標の一つとして位置づけられています。

も=4点 半分以上=3点 半分以下=2点 たまに=1点 全く=0点

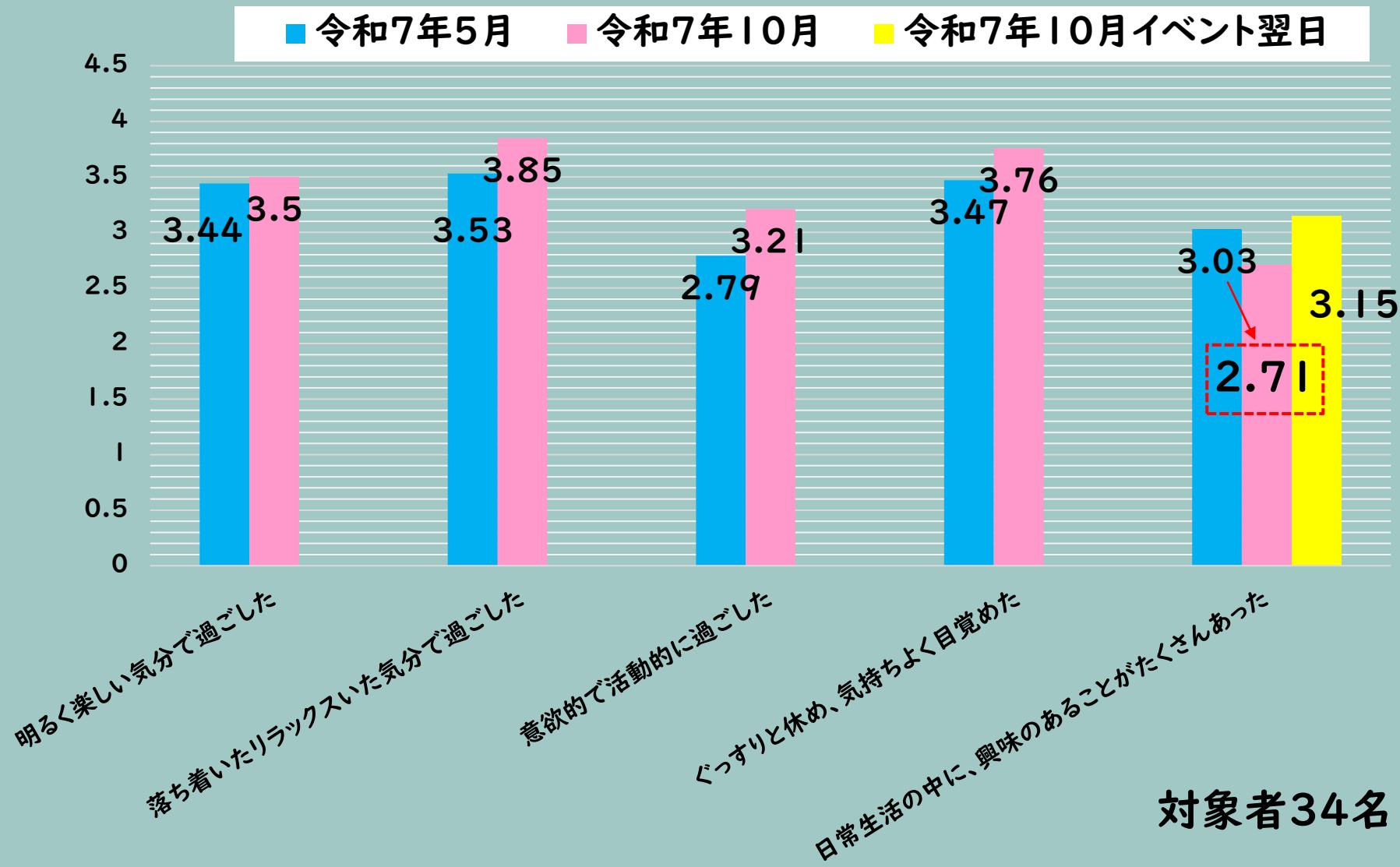
てください	いつも	ほとんどいつも	半分以上 の期間を	半分以下 の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
た	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
た	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
さんあつた	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

令和7年10月実施

も=4点 半分以上=3点 半分以下=2点 たまに=1点 全く=0点

てください	いつも	ほとんどいつも	半分以上 の期間を	半分以下 の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
た	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
た	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
さんあつた	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
さんあつた	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

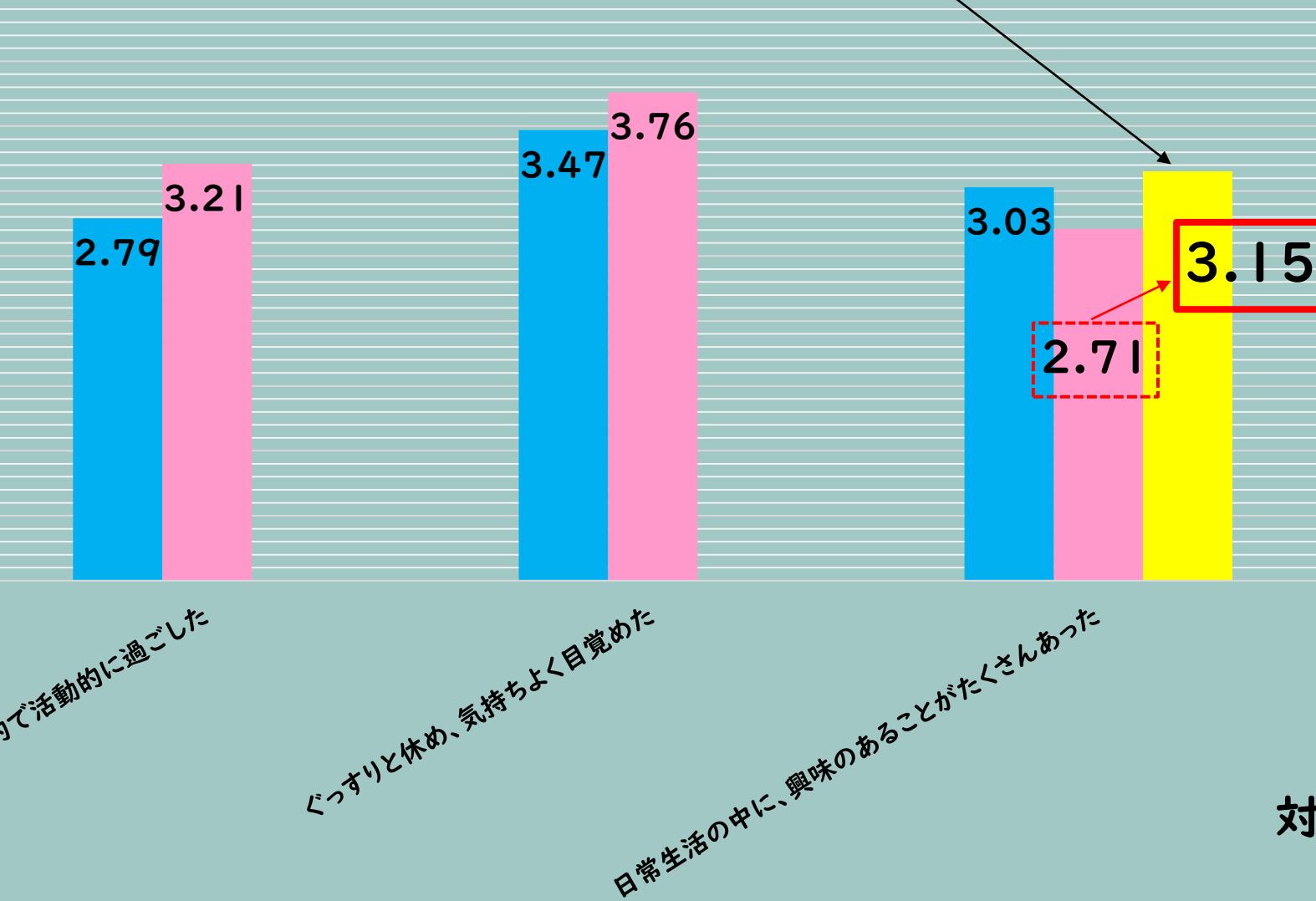
対象入居者におけるQOLの変化(入居者向け調査)



対象入居者におけるQOLの変化(入居者向け調査)

■ 令和7年10月

■ 令和7年10月イベント翌日





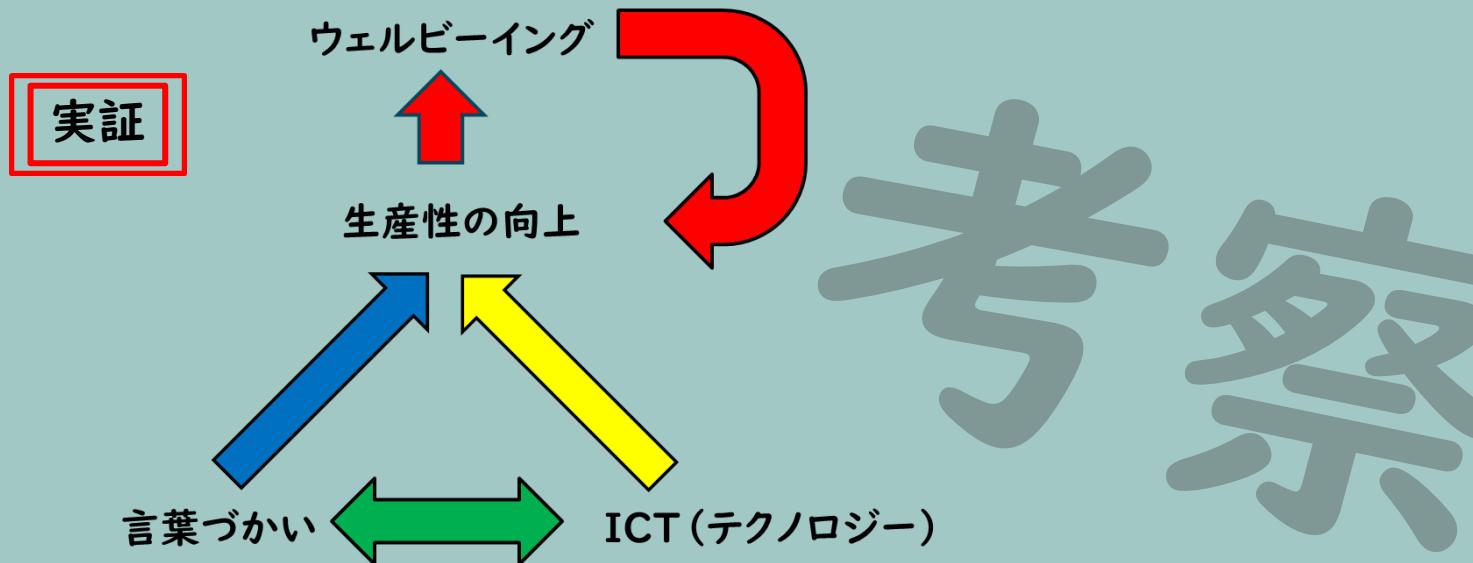
入居者アンケート

利用者向け調査票								WHO-5 スケール			
対象利用者におけるQOLの変化								令和7年5月実施			
※点数：いつも=5点　ほとんどいつも=4点　半分以上=3点　半分以下=2点　たまに=1点　全く=0点											
最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください											
	いつも	ほとんどいつも	半分以上 の期間を の期間を	半分以下 の期間を の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)		
1 明るく、楽しい気分で過ごした	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%		
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%		
3 意欲的で、活動的に過ごした	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%		
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%		
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%		
対象利用者におけるQOLの変化								令和7年10月実施			
※点数：いつも=5点　ほとんどいつも=4点　半分以上=3点　半分以下=2点　たまに=1点　全く=0点											
最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください											
	いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間を の期間を	半分以下 の期間を の期間を	ほんの たまに	まったく ない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)		
1 明るく、楽しい気分で過ごした	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%		
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%		
3 意欲的で、活動的に過ごした	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%		
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%		
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%		
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%		

WHO-5スケールは、国際的に認知されたウェルビーイング評価指標であり、介護現場における支援の質や生活の実感を定量的に捉えるツールとして活用されています。また、令和6年度介護報酬改定において「生産性向上推進体割加算」の評価指標の一つとして位置づけられています。

- ICT導入により生産性が向上し、職員の心のゆとりが生まれた
- 言葉づかいの取り組みによる職員の意識の変化があった
- 入居者におけるQOLの変化調査でポジティブな感情に変化が生まれた

よって…



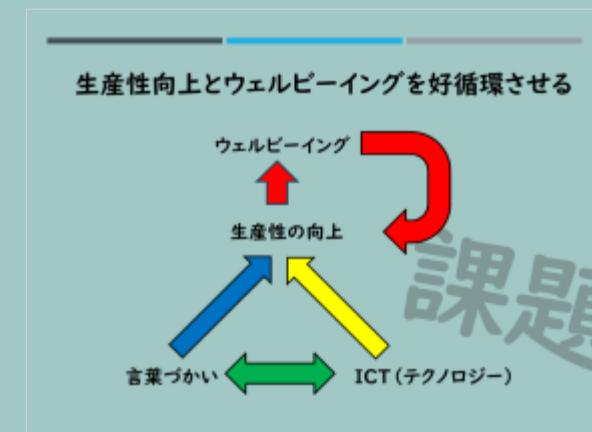
言葉づかい+ICT導入=生産性を向上=ウェルビーイングの向上

- 言葉も機器も道具に過ぎない→使いこなすかは職員しだい
- 言葉づかい・ICT機器を使いこなす＆整備継続
- 使う職員の意識のズレ→改革が必要

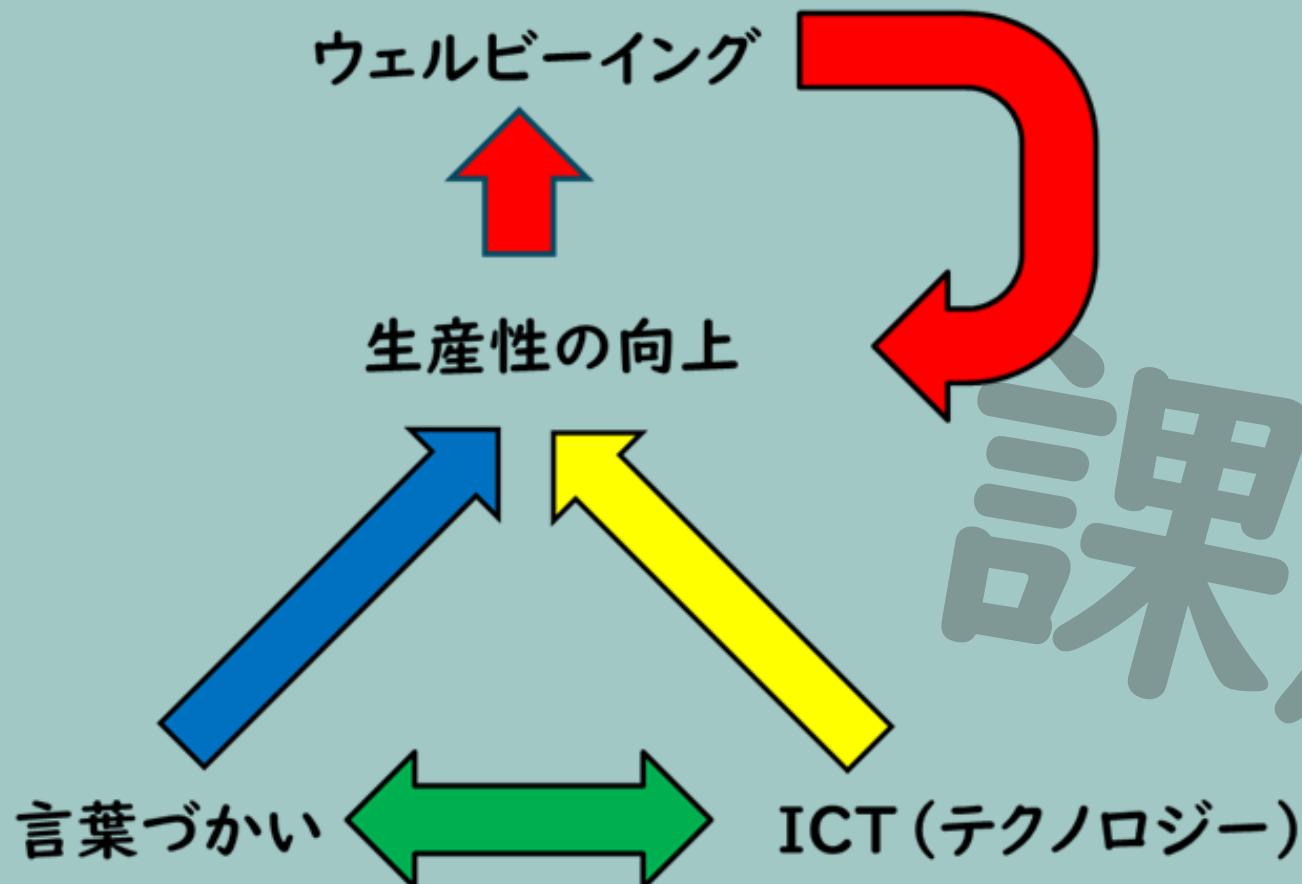
→「職員研修委員会（事業計画）」の促進

- アンケートの実施による効果測定継続
- 生産性向上により得た時間の効果測定＆時間の有効利用方法を検討
- 日誌の廃止
- 音声入力による記録

更なる
生産性の向上



生産性向上とウェルビーイングを好循環させる



課題